

フリガナ	マエダ タクオ
氏 名	前田 拓生
所 属	会計学科・大学院
職 階	教授
専門分野	金融政策・マクロ経済学・地域政策デザイン

【主な研究内容】

専門領域としてはマクロ経済学をベースとする金融論及びファイナンス論、地域金融論。ここで、特に地域金融論においては、金融の地産地消が大切であり、地域内資金循環が重要である。そのためには地域資源を活用したビジネスの創出が必要となる。その観点で、ビジネス創出に関するビジネスアイデア創造プログラムの体系化を行っている。当該プログラムを使って学生だけでなく、ビジネスパーソン向けのアントレプレナーシップ教育を実施している（群馬県庁主催「ぐんま新事業創出カリキュラム『NextBase』トータルコーディネーター）。加えて、地域活性化に向けてのビジネスにおいては、地域課題をデジタル技術を利用することで、解決につながる場合も多い。そこで、地域課題解決に向けての施策について仮説を立て、当該仮説を検証するために、開発系のコンサルタントとともにアプリ等を開発し、当該アプリ等を学生やモニタツアーを募って、実証検証を実施している。なお、最近は森林のリラクゼーション効果について検証するとともに、その効果によってアイデア創造力向上の可能性について調査を実施している。

【経験のある連携事業（地域連携、企業連携、高大連携等）】

- 山名八幡宮・富岡製糸場・富岡商工会議所での模擬ブライダルの実施
- 上野三碑及び石碑の路の訴求（マップや冊子の作成、ハイキング等）
- 上信電鉄イベント電車の実施
- 高崎における商店街、飲食店組合及び菓子業協会とのコラボ事業等
- 下仁田町街なか活性化についての調査研究（フィールドワーク）
 - ・下仁田パンフェス及び下仁田ぐるめぐりチケット販売及び追跡調査
 - ・下仁田ジオパークアプリの開発及び実証検証等
 - ・森林のリラクゼーション効果及びその効果によるアイデア創造力向上の可能性調査
- 藤岡市鬼石地域及び桜山公園の活性化についての調査研究（フィールドワーク）
- 群成舎や群馬ヤクルト販売、赤城フーズ等企業とのコラボ事業
- カードゲーム開発

【今後取り組みたい連携事業、または対応可能な連携事業】

現在、西毛地域のうち、上信電鉄沿線を中心に活動を行っている。しかし、本学の地域政策としては「点から線。線から面」を目指していることから、その他の西毛地域についても事業展開を図っていききたい。また、県庁との付き合いも強固になってきていることから、西毛地域に限らず、群馬県の活性化をテーマにして、調査研究を進めていくことも想定している。

キーワード	金融、地域活性化、アントレプレナーシップ、デザイン思考、システム思考
-------	------------------------------------